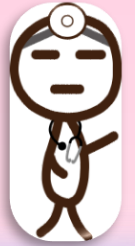




かっせんはら100 ばんち



《宮城病院基本理念》 良い医療を安全に、心を込めて



地域医療連携室長より

新年度のご挨拶

日頃は地域医療連携室にご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。年度の初めにあたりご挨拶申し上げます。

昨年度、宮城病院では、山元町地域包括支援センター業務委託や訪問リハビリテーション開始などの新たな取り組みを行いました。コロナ禍のなかでしたが皆様のご協力で概ね計画通りに事業展開できました。さらにMRガイド下集束超音波治療開始につきましては多くの患者様をご紹介いただきありがとうございました。おかげさまで治療件数も50例を越えました。また、2月13日の宮城県沖地震では、建物や病院機能に大きな被害を被りましたが、現時点で建物の一部を除いて概ね復旧いたしました。予定入院の延期などでご迷惑おかけしたことをお詫び申し上げます。

さて、令和3年度ですが、まず4月には山元町地域包括支援センターをこれまであった町役場内から病院内に移設します。より地域の医療・福祉に貢献できればと考えています。また、新型コロナウイルスワクチンも計画より遅れているもののそろそろ高齢者向けが開始されます。病院としても地域医療を劣化させないためにも全面的に町や医師会、関係各所に協力していきたいと考えています。そして早期に接種希望者全員が注射を受けられるように努めたいと思います。

少なくとも、コロナ禍がワクチンの効果などで終息しない限り、以前のような形で皆様に直接お会いに行くなどの事は困難です。昨年度から始めたオンラインでの面会、会合という形式をより活用することになると思いますが、やはり地域連携という分野においては直接的な繋がりが大事と考えていますので、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。

本年度も皆様方の貴重なご意見を賜りながら、より良い地域医療連携を構築できればと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

令和3年4月

国立病院機構宮城病院 地域医療連携室 安藤肇史

あなたの職場

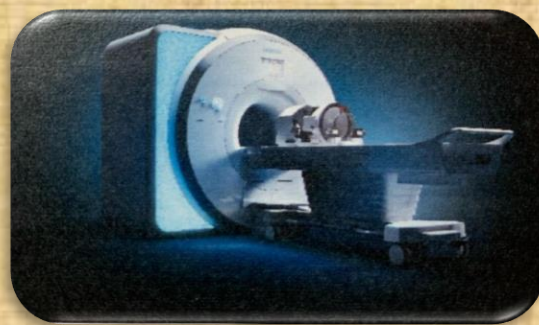
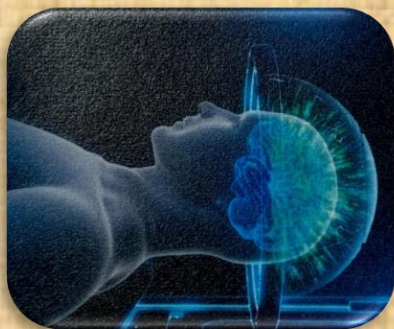
教えてください!!

～宮城病院 放射線科～

宮城病院 放射線科の紹介をします。

診療放射線技師5名、助手1名で、一般X線撮影、ポータブル撮影、CT、MRI、RI（アイソトープ検査）、X線TV撮影、骨密度測定の業務を主に行っており、24時間体制で救急診療にも対応しています。

昨年8月から**MRgFUS（MRガイド下集束超音波治療器）**が導入され、本態性振戦やパーキンソン病のふるえの治療が頭を切らずにできるようになりました。



★ Q&Aコーナー

Q：放射線科の主なお仕事は？

A、主に放射線を使用しての検査・撮影業務、高磁場・高周波を使ったMRIの撮像業務、各装置の点検・保守管理業務などです。また、放射線被ばくの測定や管理業務も放射線科の仕事です。

Q：昨年からはFUSがはじまっていますが、FUSを実施するにあたっての診療放射線技師の役割を教えてください。

A、DQA（FUS装置の品質管理）、術前SDR（頭蓋骨の骨密度測定）のためのCT撮影、術前、術中、術後の画像支援、MRI・FUS装置の保守管理などがあります。

Q：高額医療機器の共同利用について簡単に教えてください。

A、当院での医師による診察及び会計はなく、検査のみを行い、会計やレセプト請求はご依頼元の医療機関で行っていただくシステムです。
地域の医療機関の先生方には当院のMRI・CT・RI・骨密度測定装置の機器を有効に活用していただき、日々の診療のお役に立てればと考えております。患者様には当院での診察、会計がないため、予約に空きがあれば、速やかな対応が可能となっております。

※共同利用システムは事前契約が必要です。詳細等、電話にてお問い合わせください。

平日：8時30分～17時15分 TEL：0223-37-5036（予約直通電話）

担当：放射線科 松本

山元町地域包括支援センターが 宮城病院内に引っ越しました

令和2年度、山元町から業務委託を受け山元庁舎内で運営してまいりましたが、今年度から宮城病院内へ移転致しました。広報やまもと等で既にご案内をさせていただきましたが、宮城病院地域医療連携室広報誌『かっせんはら100ばんち』にて、再度ご挨拶させていただきます。

地域包括支援センターは、保健師、看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、生活支援コーディネーター等のスタッフが配置されています。山元町にお住いのみなさんが、歳を重ねても住み慣れた地域で、安心して生活ができるよう相談を受け、支援する役割を担っております。具体的には、介護予防ケアマネジメント（介護保険利用までの前段階で支援が必要な場合）に関することや、虐待防止などの権利擁護に関すること、地域のケアマネジャーへの支援などを含め、総合的に相談を受け支援をいたします。

私たち地域包括支援センタースタッフは、相談、支援をさせていただく中で、地域の皆さんおひとりお一人のお考えや希望、ライフスタイルを尊重し安心して生活を送られることを大切にしております。

地域包括支援センターの場所は、下記案内図のように、お車、ぐるりん号、または宮城病院受診時には院内からお越し頂けますので、どうぞお気軽にご相談ください。

山元町地域包括支援センター 管理者 佐藤かおり



院内廊下にこの看板があるから参考にしてね！

地域医療連携室新スタッフのご紹介

○地域医療連携室副室長（経営企画室長） 山本 亮次郎

国立病院機構北海道がんセンターより赴任いたしました山本と申します。7年前の平成26年4月からの1年半、宮城病院での勤務経験があり、今回が2度目の勤務となります。赴任後、まず感じた変化としましては、当時は不通となっていた常磐線浜吉田ー相馬間が開通に至った事です。ニュースでは知っておりましたが、実際に高架の上を走る列車を目の当たりにして、大変感動いたしました。いつか実際に乗って、車窓から山元町の町並みや海岸線を眺めて見たいと思っています。



さて、宮城病院も周辺地域の高齢化率が高まる中、変化の時を向かえています。従前から有している様々な専門医療のほか、東北初となるMRガイド下集束超音波治療（FUS）の治療開始、訪問看護ステーションの開設や地域包括支援センターの受託など、地域の人口動体の変化と共に当院も変革期の真っ直中です。

当院が地域にとって必要不可欠な存在で有り続けられるよう、微力ながら私も貢献して行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



よろしくお祈いします！
次のページも続くよ

○地域医療連携係長（看護師長） 阿部 直美



令和3年4月より、地域医療連携室係長となりました、看護師長の阿部直美と申します。

令和2年4月から宮城病院に異動となり、中央4階病棟に勤務しておりました。異動前の病院では地域医療連携室に勤務していましたので、その経験を活かしながら、外来受診等の相談、入院・転院相談、退院に向けての支援などを行い、地域の方々が安心して生活できるよう関わらせていただきたいと思います。また、各医療機関、施設、事業所の皆様のご協力を頂きながら、地域と医療、介護、福祉の橋渡しをし、「顔の見える連携」を心がけていきたいと思っております。

地域の皆様には教えていただきたいこともたくさんあります。お気軽に地域医療連携室にお越しいただき、お声がけください。

どうぞよろしくお願いいたします。



今年度の地域医療連携室
スタッフ一同です。
桜が満開でした♪



～編集後記～

新年度が始まり、「何かを頑張ろう！」と燃えている今日この頃です。コロナ禍で運動不足のため散歩でも始めてみようかと考えております。今年度も地域の医療機関・事業所の皆様には大変お世話になります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
地域医療連携室 川村



〒989-2202

亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL (0223) 37-1131 (代表)

<http://miyagi.hosp.go.jp/>

【発行・編集】

独立行政法人国立病院機構宮城病院
地域医療連携室